

2009年11月5日
横浜ゴム株式会社

2009年度 第2四半期決算説明会

 YOKOHAMA



2009年度第2四半期累計連結決算の状況

単位：億円

	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減率	9月修正予想
売上高	2,566	2,021	▲21.3%	2,000
営業利益	56	▲24	—	▲30
経常利益	38	▲37	—	▲45
四半期純利益	6	▲39	—	▲50

部門別の状況

単位: 億円

		2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減率	9月修正予想
売上高	タイヤ	1,938	1,560	▲19.5%	1,550
	MB	628	460	▲26.7%	450
	合計	2,566	2,021	▲21.3%	2,000
営業利益	タイヤ	32	▲25	—	▲30
	MB	27	2	▲93.6%	0
	合計	56	▲24	—	▲30

2009年度連結業績予想(通期)

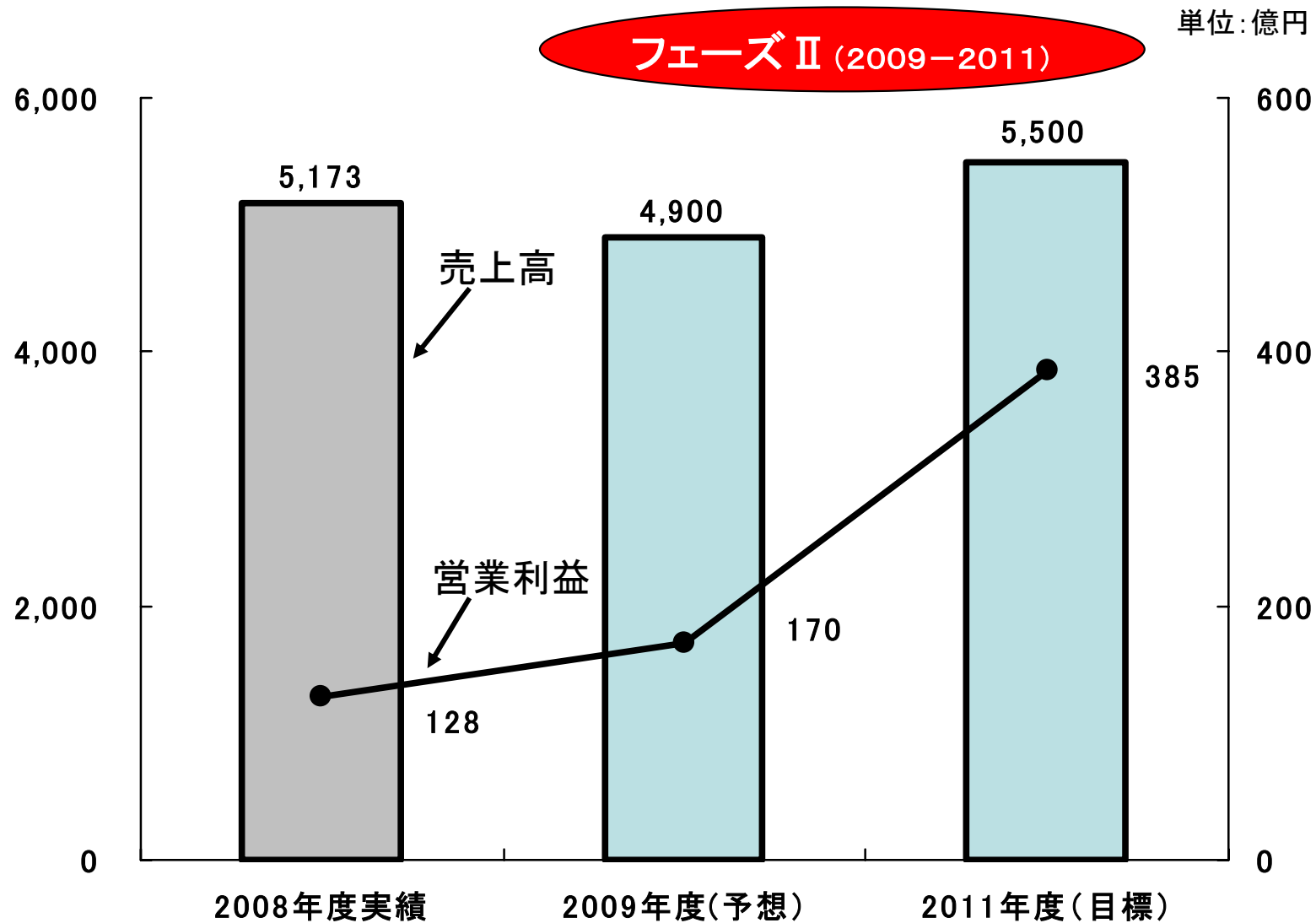
単位:億円

	2008年度通期	2009年度通期	増減率	期初予想
売上高	5,173	4,650	▲10.1%	4,900
営業利益	128	170	32.7%	170
経常利益	4	120	—	120
当期純利益	▲57	70	—	70

中期経営計画(GD100)と 09年度下期の取り組み



フェーズⅡの財務目標



フェーズⅡ達成のための重点課題

テーマ: 高質な成長




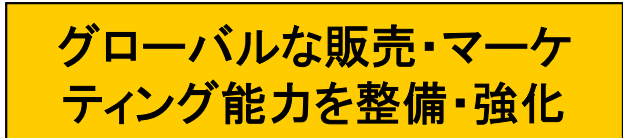
重点課題

1. タイヤ成長戦略
2. MB事業戦略
3. 技術戦略
4. 基盤強化
5. CSRへの取り組み





タイヤ成長戦略

	上期	下期
<p>①環境貢献商品のグローバル展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●米国でdB super E-spec 発売(夏)  <ul style="list-style-type: none"> ●ADVAN dB発売(7月) 	<p style="background-color: yellow; text-align: center;">欧州主要国で販売開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ●GEOLANDAR I/T-S発売(秋) ●ZEN 902ZE発売(秋)
<p>②グローバルな新車装着活動による認知度向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●アウディQ7装着(5月) ●ベンツCクラス装着(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ●エコレーシングタイヤをWTCCに長期供給(10-12年) 

タイヤ成長戦略

	上期	下期
③ロシア事業の強化	●ロシアに生産販売会社設立(8月)。2011年度中に操業	
④増産計画	●中国の杭州横浜輪胎を拡張(7月)。2011年1月操業	●杭州横浜輪胎の4期再拡張を決定。300万本から510万本に能力増強。 
⑤グローバル市場における地域事業体制の強化	●欧州、アジア、南米など主要地域のマーケティング会社の機能強化	 

MB事業戦略

	上期	下期
①成長分野のグローバル展開	<ul style="list-style-type: none">●欧州にMBマーケティング拠点設置(4月)●YHアメリカ、自動車用PSホース事業強化(5月)	  <p>米国PSホース市場でトップ</p>
②環境を軸とした新規事業への取り組み	<ul style="list-style-type: none">●太陽電池向けシール材、車両構造用接着材の開発●電化製品向け接着剤FLASH ONE(8月) 	


PRGR新商品の拡販

	上期	下期
PRGR ①新商品	<ul style="list-style-type: none">●女性用クラブ「Sweep」リニューアル(8月)●「egg アイアン II」発売(8月) 	<ul style="list-style-type: none">●「egg impact PX-01」発売(10月) 
②その他	<ul style="list-style-type: none">●スイング診断システム「SCIENCE FIT」の設置拡大(9月)	





技術戦略

	上期	下期
①環境貢献技術	<p>●低転がり抵抗、軽量化技術への集中</p>  <p>AIRTEX advanced liner</p>	 <p>エコタイヤ技術を東京モーターショーで展示</p>
②良いモノを、安く、タイムリーに	<p>●タイのタイヤプルービンググラウンドがオープン(4月)</p>  <p>基礎技術、商品化技術、量産技術の強化</p>	<p>●生体情報によるタイヤ評価手法確立(10月)</p>  <p>→</p>

基盤強化

	上期	下期
①国内事業の構造改革	●ヨコハマタイヤ・ジャパンの設立(7月)	国内販売会社18社を統合。営業網再編と間接業務簡素化を実現
	●MB事業を事業と機能のマトリックス組織へ。支店制も廃止し簡素化(6月)	
②ムダ取り活動の新フェーズ	従業員意識改革、企業文化として定着化	

CSRへの取り組み

	上期	下期
①環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガス排出量、3年連続で京都議定書の目標クリア ● ISO14001、中国子会社2社取得で全MB拠点が認証取得完了 ● YOKOHAMA千年の杜国内外12拠点で植樹(9月) 	<p>2008年度:13.4%削減 2009年度:18%削減(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ライブエコモーション開催(11月)  
②社会・人	<ul style="list-style-type: none"> ● 韓国ヨコハマ、モンゴルで砂漠緑化(5月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ヨコハマタイヤフィリピン、台風被災者を支援(10月) 

GD100